

感染者数増加傾向！ 新型コロナウイルス感染症

令和4年7月13日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和4年第27週分・7月4日～7月10日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、7月10日時点で9,696,650例となり、31,426例の死亡が確認されています。全国の感染者数は6月下旬以降増加傾向に転じ(図;折れ線グラフ)、感染再拡大が明確になってきました。

今週の県内の感染者数は1,517例であり、先週(6月27日～7月3日)の659例の2倍以上に増加しています(図;棒グラフ)。現時点での流行ウイルスの主体はオミクロン株(BA.2)ですが、BA.2系統よりやや感染性が高いとされるBA.5系統が今月8日に県内で初確認されました。全国的にBA.2からBA.5への置き換わりが進みつつあると考えられます。

これから3連休や夏休みがあり、人の移動が増えることが予想されます。更なる感染拡大の防止のためには、基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が必要です。また3回目のワクチン接種から5ヶ月を経過した60歳以上の方、18歳以上60歳未満の基礎疾患のある方には4回目接種が推奨され、まだ3回目の接種を受けていない12歳以上の方にも接種が推奨されます。体がだるい、熱がある、のどに違和感がある等の症状がある場合は、出勤や登校、外出や人と会うことを控え、速やかに医療機関に連絡のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。

相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。また、ワクチン接種を受けられない方、感染している可能性に不安を抱える方などを対象にPCR等検査無料化事業が実施されています。詳しい内容は県HP(<https://www.pref.toyama.jp/1103/20211227pcr.html>)よりご確認ください。

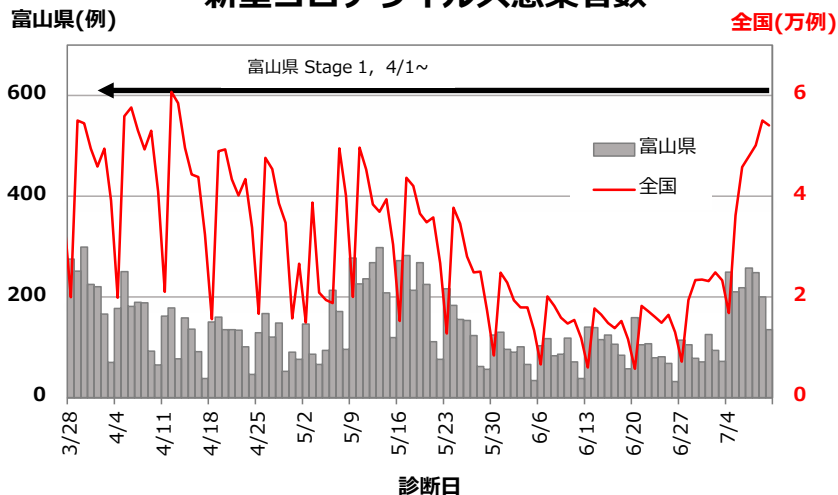
《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 1,517件(暫定値)
- 五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件(第25週診断分:70歳代、男性)
- 水痘(入院例) 1件(第25週診断分:70歳代、男性)
- 梅毒 1件(第24週診断分:40歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.97(↑)	3.62
2位	手足口病	0.97(↓)	1.52
3位	咽頭結膜熱	0.48(↓)	0.59
4位	突発性発しん	0.17(↓)	0.59
5位	流行性角結膜炎	0.14(↑)	0.00
6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.10(→)	0.10
	ヘルパンギーナ	0.10(↓)	0.14

新型コロナウイルス感染者数



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第27週 令和4年7月4日～令和4年7月10日）

分類	疾患	今週報告分（第27週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	109	173	585	200	445 ^{※1}	5	1,517	3,449	3,071	9,343	3,492	17,625 ^{※1}	182	37,162	
二類感染症	結核								1	4	21	8	19		53	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								2	1	4		7		14	
四類感染症	つつが虫病									1					1	
	レジオネラ症								3		8	2	9		22	
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3	
	ウイルス性肝炎										2				2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										4	2	5		11	
	急性脳炎										2				2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								3		5		5		13	
	後天性免疫不全症候群												1		1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		3		4	
	侵襲性肺炎球菌感染症										2		3		5	
	水痘（入院例）												2		2	
	梅毒									2		6	3	20		31
	播種性クリプトコックス症												3		3	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1	
	RSウイルス感染症			2				2	30	18	258	56	285		647	
	咽頭結膜熱	2	1	1		10		14	43	34	151	8	93		329	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.33	0.13		1.00		0.48								
	感染性胃腸炎	23	7	36	3	46		115	501	564	1,514	543	1,669		4,791	
	水痘	5.75	2.33	4.50	0.75	4.60		3.97								
	手足口病	1		1				2	1	8	33	1	25		68	
		0.25		0.13				0.07								
	伝染性紅斑			24	1	3		28	2	27	234	4	72		339	
				3.00	0.25	0.30		0.97								
	突発性発しん			1		4		5	1		4	1	4		10	
				0.13		0.40		0.17	18	16	89	23	71		217	
	ヘルパンギーナ	2		1				3	50	7	28	2	9		96	
		0.50		0.13				0.10								
	流行性耳下腺炎								1		5	3	1		10	
流行性角結膜炎	1						1	9	2	6				17		
	1.00						0.14									
細菌性髄膜炎											1	1		2		
マイコプラズマ肺炎											1			1		
インフルエンザによる入院患者（※3）										1	3	1		5		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表日前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。